

～飛騨市地域学校協働活動レポート 第11号～

2021年6月17日(飛騨市学園構想 Facebook ページより)

~~~★CS&地域学校協働活動レポート★~~~

今回は古川中学校の学校運営協議会委員の向川原さんよりレポートをいただきました^^  
ありがとうございます！

### <古川中学校 令和3年度第1回学校運営協議会>

5月12日(水)、6名の協議会委員が学校にお邪魔をして、第1回の学校運営協議会を実施しました。

冒頭、下出校長先生が立ち上がり、「グラウンドの様子をどうぞご覧ください。」と私たちを窓際へ誘導されました。グラウンドいっぱい、体操服の生徒たちが学年リレーや大球リレーなどの練習をしています。来る5月19日、本年度の体育祭が実施されます。コロナ禍も手伝って、年間計画を見直し、5月実施を決断。研修旅行等の行事も、時期を組み替えるなどしました。体育祭は無観客で実施されるのは残念ですが、中学生らしく自分



たちで練習に励んでいる様子に、安心感をもちました。生徒ばかりでなく先生も元気で、生徒と一緒に走って走る姿がありました。経験のない変化に対応することを求められる日々が続きますが、学校は、学校らしい姿をしっかりと維持しながら運営されていることを感じました。

第1回は学校長の経営方針を承認する会でもあります。「自主 自立 協働」の学校教育目標を掲げ、子どもたちが成長する姿を力強く支援してくださいませ。校長先生は、昨年からの合い言葉を、「創る」としています。`つくる`といえば、「作る」・「造る」がありますが、この「創る」には、新たなものを`つくる`というニュアンスが強く表されます。コロナ禍の中で新たな対応を期待されるこの時勢の中、まさにフィット感のある合い言葉ですね。協議会も少しでも新たなものを生み出しながら、前へ進みたいと思います。

意見交流では、ジェンダーフリーに関わる話題から、今よく耳にするようになった SDG's (持続可能な開発目標)に関わる話題まで、幅広く交流がなされました。経営構想の中に「自己実現」という言葉がありますが、生徒ばかりに限らず、私たちも自己実現の路を歩んでいます。立場こそ違え、願いをもってそれに向かって努力していくことで、新たな自分を創りだし、社会に貢献していくことにつながろうとしています。

今年も学校地域活動本部の取り組みとして、「未来の担い手創り講座」を行います。これは地元の様々な事業主の方に講師となっていただき、20以上の職業講座を開きます。生徒が興味のある講座を選んで受講するというものです。地元の職業について知るチャンスでもありますが、自己実現に向けた人としての生き方を学ぶ場になるように、地域の講師の皆さんとの連携を大切にしながら設定の工夫をしていきたいと思ひます。

---

学校区の委員だけでなく、幅広い方達の参画をいただき作っていくのがこの活動です。ぜひ、ご協力いただける方は飛驒市の地域学校協働活動の事務局(生涯学習課 0577-73-7495)までお気軽にお問ひ合わせくださいね！